

# 10代のファミリーサポーター養成講座

## 実施報告書

2003年度 福井市・坂井郡

2004年度 嶺南



特定非営利活動法人 福井県子どもNPOセンター

〒910-0023 福井市順化2-1-1 益茂ビル3階

TEL 0776-30-0911

FAX 0776-30-0912

目的 このプログラムは10代の子どもたちが保育体験を通して「いのち」や「性」そして未来の親業への啓発を図ることを目的に開催されます。子どもが子どもをサポートするプログラムは子どもならではの感性で社会に参画できるだけでなく、男女共同参画や少子化といった現代のテーマにも子どもたちならではの学びが期待できるのではないのでしょうか。本事業は福井県を3つの地域に分け3ヵ年計画で実施され、2003年度は坂井郡、福井、2004年度は嶺南、そして今年度は奥越、丹南地域の高校生が対象になります。

## 2003年度

＜参加者＞ 36名 (男子4名 女子32名)

学校別	藤島高校 … 4名	高志高校 … 5名
	足羽高校 … 3名	三国高校 … 7名
	羽水高校 … 1名	丸岡高校 … 3名
	金津高校 … 4名	仁愛高校 … 6名
	啓新高校 … 2名	北陸高校 … 1名

### 講座別

第一回	命が生まれる助産院訪問「命のねっこ」	… 33名
第二回	赤ちゃん絵本の世界「ブックスタートと親子のふれあい」	… 27名
第三回	子どもの遊び心に挑戦しよう「心が動き、からだが動く」	… 25名
第四回	幼児の世界をビデオとお話で「幼児はスゴイ！」	… 23名

### 保育園実習 … 計26名

福井市木田保育園 … 3名	福井市啓蒙保育園 … 4名
福井市円山保育園 … 3名	福井市日之出保育園 … 6名
丸岡町つぼみ保育園 … 4名	丸岡町今福保育園 … 6名

### イベント託児

講演会「子育ての社会学」	… 19名
東京スカパラダイスオーケストラLIVE2004」	… 5名

## 2004年度

＜参加者＞ 21名 (男子1名 女子20名)

学校別	敦賀高校 … 5名	敦賀工業高校 … 1名
	美方高校 … 4名	若狭高校 … 6名
	若狭東高校 … 2名	敦賀気比高校 … 3名

目的 このプログラムは10代の子どもたちが保育体験を通して「いのち」や「性」そして未来の親業への啓発を図ることを目的に開催されます。子どもが子どもをサポートするプログラムは子どもならではの感性で社会に参画できるだけでなく、男女共同参画や少子化といった現代のテーマにも子どもたちならではの学びが期待できるのではないのでしょうか。本事業は福井県を3つの地域に分け3ヵ年計画で実施され、2003年度は坂井郡、福井、2004年度は嶺南、そして今年度は奥越、丹南地域の高校生が対象になります。

## 2003年度

<参加者> 36名 (男子4名 女子32名)

学校別	藤島高校	…	4名	高志高校	…	5名
	足羽高校	…	3名	三国高校	…	7名
	羽水高校	…	1名	丸岡高校	…	3名
	金津高校	…	4名	仁愛高校	…	6名
	啓新高校	…	2名	北陸高校	…	1名

### 講座別

第一回	命が生まれる助産院訪問「命のねっこ」	…	33名
第二回	赤ちゃん絵本の世界「ブックスタートと親子のふれあい」	…	27名
第三回	子どもの遊び心に挑戦しよう「心が動き、からだは動く」	…	25名
第四回	幼児の世界をビデオとお話で「幼児はスゴイ！」	…	23名

### 保育園実習 … 計26名

福井市木田保育園	…	3名	福井市啓蒙保育園	…	4名
福井市円山保育園	…	3名	福井市日之出保育園	…	6名
丸岡町つぼみ保育園	…	4名	丸岡町今福保育園	…	6名

### イベント託児

講演会「子育ての社会学」	…	19名
東京スカパラダイスオーケストラLIVE2004」	…	5名

## 2004年度

<参加者> 21名 (男子1名 女子20名)

学校別	敦賀高校	…	5名	敦賀工業高校	…	1名
	美方高校	…	4名	若狭高校	…	6名
	若狭東高校	…	2名	敦賀気比高校	…	3名

## 講座別

第一回	命が生まれる助産院訪問「命のねっこ」	… 13名
第二回	子どもの遊び心に挑戦しよう「心が動き、からだ動く」	… 11名
第三回	赤ちゃん絵本の世界「ブックスタートと親子のふれあい」	… 8名
第四回	幼児の世界をビデオとお話で「幼児はスゴイ！」	… 6名

## 保育園実習 … 計11名

小浜市第一保育園 … 2名 敦賀市三島保育園 … 2名

小浜市雲浜保育園 … 4名 敦賀市粟野保育園 … 3名

## イベント託児 … 2名

講演会「かならず実る子育てのひみつ」 … 2名

## 講座感想

### ◆ 命が生まれる助産院訪問「命のねっこ」

助産院の診察室や入院室を説明に沿って見学した。全員で2階に集合し開講式。スライドとビデオを使った話はわかりやすく家族で迎えるお産には高校生も感動したようだ。助産院で出産した家族も講座を訪れ、高校生たちの質問にも答えてくれた。生まれたばかりの赤ちゃんを全員で抱かせてもらい、命の重みを実感した。

### <参加者の感想>

今日は、初めて助産院にきました。普通の病院とは違って、赤ちゃん和家人の係わり合いをととても大切にしていることが、とてもよくわかりました。お父さんが赤ちゃんを取り上げたり、へその緒を切ったりできることは、とても大切だし、いいことだと思います。今日、赤ちゃんを抱っこすることができて、写真で見るのとは全く違う赤ちゃんのかわいさを感じることができました。赤ちゃんは、あたたかくて、命の尊さ、大切さを感じることができました。このような助産院が、日本中にもっとももっとたくさんできればいいのになあ。そうすれば、赤ちゃんが

助産院にはじめて入りました。先生のお話はどれも初めて聞くことで新しいことを学びました。赤ちゃんが親の希望通りに生まれてきたり、小さな子どもが双子が産まれてくることを見抜いていたり、何十年も生きている私たちや親よりも、子ども、赤ちゃんの方が何倍もすごいと思った。病院で産むのと違って家で産むような感覚で産める、ここの助産院の方針はすばらしいと思った。生後3日の赤ちゃんをあつかうのは、壊れそうな高い品物を持っているかのようにとても緊張しました。だけど、めったにできない体験ができてよかったと思います。

## ◆ 赤ちゃん絵本の世界「ブックスタートと親子のふれあい」

赤ちゃんは母親のお腹の中にいる時から生活の音、お母さんの声を感じているという具体的な事例からブックスタートという言葉の意味やとりくみなどを話した。初めて聞く受講生も多かったが、谷出先生が赤ちゃん絵本を何冊も読んでくれたことに心地よさを感じたのでないか。親子のふれあいに絵本が必要であることや、子どもの絵本の見方、赤ちゃんに読んであげたい絵本の紹介など長く児童文学にたずさわっている講師ならではの楽しい講座であった。

### <参加者の感想>

今日はいろんな絵本を見て、楽しかったです。絵本はただ見て楽しむだけだと思ってたけど、いろいろ“しつけ”や“あそび”とかあって、子どもの成長にも役立つことがわかりました。絵本はとても楽しいなあと思いました。また、生まれてまもなくの赤ちゃんもちゃんと絵本で楽しめるということを知って、びっくりしました。絵本は親子のふれあいや、親子のきずなを作る、すばらしいものだなあと思いました。

絵本とは、ただ読んであげるだけのものだと思っていました。しかし、絵の中にも色彩を考えてあったり、文にも色々な意味があったりと、絵本を読むだけで、子どもにとって勉強になるのだなあと思いました。先生は読み聞かせ方も上手で、高校生の私たちも楽しむことができました。私が母親になったら、子どもがお腹にいるときから本を読んであげたいと思います。

## ◆ 子どもの遊び心に挑戦しよう「心が動き、からだ動く」

子どもと向き合うことは心を開放していっしょに遊ぶことから始まり、指導者の言葉かけやちょっとした環境の工夫で子どもの創造力がどんどん広がっていくことなど実践を通して学んでいた。折り方や投げ方で自分の手元に戻ってくる「魔法の紙ひこうき」を教えてもらおうとみんな夢中になって挑戦していた。遊びの中でいろいろな人と触れ合うことができ、受講生どうしのコミュニケーションも深まったようだ。

### <参加者の感想>

去年に保育園へボランティアに行ったときに子どもたちがついてきていて、「何でついてくるんだろう？」って考えたときがありました。その理由が今回の講座に参加してわかりました。子どもの感じ方とか感情は私たちとは違うし、そして、遊びからたくさんのことを学んでいくのだということがわかり、子どもたちに対しての接し方を学ぶことができました。

まず始めに、自分が幼児の時にできたことが今はできなくなっていることがわかりました。入ってきたときは、自分でも顔が怖かったと思います。でも、遊んでいくうちに、自然に笑顔になっていました。幼児は、すぐに笑顔になるので、すごいなあと思いました。幼児や乳児との向き合う難しさ、その向き合い方がすごく勉強になりました。現場に行ったら、いっぱい実践できそうです(^.^) 紙飛行機はとても感動しました！！

## ◆ 幼児の世界をビデオとお話で「幼児はスゴイ！」

「幼児の世界」という番組を20年以上制作しているディレクターという立場からみた幼児の生活、保育者のあり方、子ども観などを話された。「幼児の世界」のビデオから遊びの中で展開される発達の過程や経験から学んでいく幼児の姿が映し出され、自分の保育園時代を思い出したのではないかと。番組の中で子どもに接する保育者の姿には学ぶべきことが多かった。

### <参加者の感想>

ビデオに出てた子たちは、自然の中でとても生き生きと楽しそうに遊んでいたなと思いました。私が、保育園の時は川や山とかであまり遊んだことがなかったのでいいなあとと思いました。けんかをしていた子どもがいたけど、私だったらすぐ中に入って行ってしまおうと思います。けど、見守っていることも大切なんだと思いました。今日はいろんなことを考えられてよかったです。

今日はたくさんの発見がありました。ビデオではほとんどの大人が手が出ず、火や刃物を使ったりして危険で大丈夫かな…と不安になりました。でも、それが逆に子どもたちが心や頭を使って賢いなと思わせるほどりっぱに見えました。ビデオの中で「足の背骨が折れた」とか「右にあるよ」といいながら左を指していてもおもしろかったです。大人がルールを守らせなくても子どもには子どもの世界があり、ルールがあるんだと思いました。

